

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第56回 ビジネス文書実務検定試験 (28.7.3)

第4級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- a. 1行の文字数を30字に設定すること。
- b. プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

第56回 ビジネス文書実務検定試験 (28.7.3)

第4級 速度部門問題 (制限時間10分)

料理のレシピで使う表現に、難しさを感じる人がいる。例えば、	30
適量やひとつまみなどで示される分量は、経験にもとづいた感覚が	60
ないと理解できない。しかし、家庭で食事を作る機会が減り、その	90
感覚を学ぶことが難しくなっている。	108
そこで、文字だけではわからない表現を、理解しやすいよう工夫	138
した料理本が人気だ。写真で説明したものや材料の大きさをセンチ	168
で表したものなど、多くの本が出版されている。好みに合う一冊を	198
探し、気軽に挑戦しよう。	210